

埼玉経済

8月の消費支出3.0%減

家計調査 緊急事態宣言が影響

総務省が8日発表した8月の2人以上世帯の家計調査によると、1世帯当たりの消費支出は26万6638円で、物価変動を除く実質で前年同月比3.0%減となった。減少は7月ぶり。新型コロナウイルスの感染拡大で、緊急事態宣言が多くの地域に出された影響で、消費全体が抑えられた。前月比(季節調整済み)では実質3.9%減だった。

項目別では、外食を含む食費の支出が落ち込んだ。天候が前年同月比3.2%減。不順で外出の機会が減った。宣言発令による飲食店での短時間営業や休業による影響も大きい。マスクなどの含む「保健医療」は8.6%減で、前年同月比2.9%減の29万4170円だった。

総務省によると、感染拡大前の2019年8月と比較した2人以上世帯の消費支出は、実質で9.5%減となった。担当者は「全体的に新型コロナウイルスの影響が続いている」と話している。

家計調査 景気動向を調べる上で重要な指標となる個人消費の推移を把握するため、家計の収支状況をまとめた調査。毎月公表し、経済政策の判断材料にも使われる。全国で約9千世帯を選び、収入や支出の金額を調査票に記入してもらう。食料や住居、家具・家事用品といった品別の支出額と増減が分かる。勤労者世帯などの分類別のデータも示している。



8月 経常黒字20.1%減

自動車輸出の伸び鈍化

財務省が8日発表した8月の国際収支速報によると、海外(供給網)の混乱で自動車の輸出の伸びが鈍化したことが取引収支を押し下げた。黒字は86万9千7年黒字額は、前年同月比20.1%減少した。8月の貿易収支は、輸出が2兆9656億円で、輸入が2兆7640億円で、貿易収支は2016億円の黒字で、7月の貿易収支の219億円の赤字に転じた。自動車輸出は前年同月比17.9%減の1兆318億8千万円だった。輸出が鈍化したのは、海外の自動車需要の減速や、中国向けの前月ぶりに赤字に転じたことによる。自動車輸出は前年同月比17.9%減の1兆318億8千万円だった。輸出が鈍化したのは、海外の自動車需要の減速や、中国向けの前月ぶりに赤字に転じたことによる。

城西大学発

研究の現場から

秋田県の名産品「ブリコ」を研究する城西大学の研究チームは、魚の卵を良く食べるが、ハタハタという海産物の卵を食べると、魚の卵の味が嫌いになると報告している。ハタハタは一粒はらばらな卵を産卵する魚で、その卵は味付けして食べられるが、ハタハタの卵は味が嫌いになると報告している。ハタハタは一粒はらばらな卵を産卵する魚で、その卵は味付けして食べられるが、ハタハタの卵は味が嫌いになると報告している。

新型スイッチ発売

任天堂は8日、家庭用ゲーム機「ニンテンドースイッチ」の新モデル「有機EL画面」を採用した「ニンテンドースイッチ OLED」を発表した。鮮やかな発色が特徴の有機EL画面を採用し、画面サイズを拡大した上級モデルとなる。6月末までに全世界で9万台近くを売り上げたヒット機種「ニンテンドースイッチ」の最新モデルとして、販売をスタートさせる。価格は3万7980円。スイッチは2017年3月に発売。通常モデルのほか、19年9月発売の廉価モデル「ライト」もある。新型ニンテンドースイッチは、有機EL画面の採用により、画面サイズを拡大し、発色も鮮やかになる。また、画面の輝度を高め、暗い環境でも見やすい。さらに、画面の消費電力を抑え、充電時間も短くなる。任天堂は「有機EL画面の採用により、スイッチの性能をさらに引き上げることができた」と話している。



任天堂の家庭用ゲーム機「ニンテンドースイッチ」の新モデル「有機EL画面の上級モデル」。

45億円の融資

高田製薬 新工場建設 調融資で、加須市内に建設する抗がん剤の工場。高田製薬は、抗がん剤の工場を建設するため、45億円の融資を受け、新工場を建設する。高田製薬は、抗がん剤の工場を建設するため、45億円の融資を受け、新工場を建設する。高田製薬は、抗がん剤の工場を建設するため、45億円の融資を受け、新工場を建設する。

最低賃金周知

キャンペーン

埼玉労働局は6日、10月からの最低賃金の引き上げ額を周知するキャンペーンを実施した。同局は、最低賃金の引き上げ額を周知するキャンペーンを実施した。同局は、最低賃金の引き上げ額を周知するキャンペーンを実施した。同局は、最低賃金の引き上げ額を周知するキャンペーンを実施した。

佐野香織 理学部化学科准教授

ブリコの思い出

佐野香織准教授は、魚の卵の味について研究している。彼女は、魚の卵の味が嫌いになると報告している。彼女は、魚の卵の味が嫌いになると報告している。彼女は、魚の卵の味が嫌いになると報告している。



佐野香織准教授の思い出。彼女は、魚の卵の味が嫌いになると報告している。

米CPIに注目

米CPIに注目。米国の消費者物価指数(CPI)が前年同月比4.0%上昇した。これは、7月の4.3%から鈍化した。ただし、人手不足や供給網の混乱などによる物価の上昇要因は解消されず、インフレは高止まりする可能性がある。また、インフレ率が上昇すれば、米CPIに注目する。米国の消費者物価指数(CPI)が前年同月比4.0%上昇した。これは、7月の4.3%から鈍化した。ただし、人手不足や供給網の混乱などによる物価の上昇要因は解消されず、インフレは高止まりする可能性がある。

項目	10月	9月	8月	7月
全体的なCPI	4.0%	4.3%	4.3%	4.3%
サービスCPI	4.7%	4.7%	4.7%	4.7%
商品CPI	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

協賛融資で、加須市内に建設する抗がん剤の工場。高田製薬は、抗がん剤の工場を建設するため、45億円の融資を受け、新工場を建設する。高田製薬は、抗がん剤の工場を建設するため、45億円の融資を受け、新工場を建設する。

支店	売上高	増減率
東京	189.8	+1.5%
大阪	180.5	+0.8%
名古屋	175.2	+2.1%

協賛融資で、加須市内に建設する抗がん剤の工場。高田製薬は、抗がん剤の工場を建設するため、45億円の融資を受け、新工場を建設する。高田製薬は、抗がん剤の工場を建設するため、45億円の融資を受け、新工場を建設する。

品名	単価
鶏卵(全農)	223
鶏卵(全農)	219
鶏卵(全農)	214

品名	単価
バラ	249
バラ	219
バラ	214

指標	値
東証1種平均	111.95
日経平均	27804.94
TOPIX	1961.85

銘柄	価格
米債	118.8
米債	129.27
米債	119.99

品名	単価	増減
大豆	1188	+0.5%
小麦	129.27	+0.2%
とうもろこし	119.99	+0.1%